

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【公表番号】特表 2006-528199(P2006-528199A)

【公表日】平成 18 年 12 月 14 日 (2006.12.14)

【年通号数】公開・登録公報 2006-049

【出願番号】特願 2006-521248(P2006-521248)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/52 (2006.01)

C 0 7 D 473/16 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 9/12 (2006.01)

A 6 1 P 7/10 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 25/24 (2006.01)

A 6 1 P 9/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/52

C 0 7 D 473/16

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 9/12

A 6 1 P 7/10

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 25/24

A 6 1 P 9/06

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 3/10

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 1/12

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 6 月 12 日 (2007.6.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

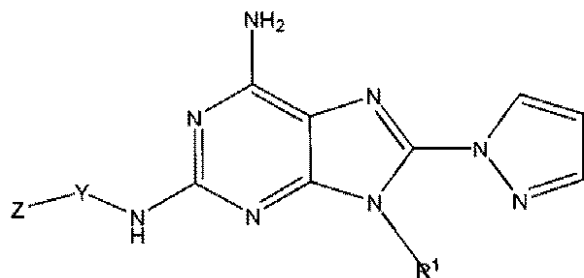
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

治療学的に有効な量の式 I :

【化 1】



式 I

[式中、

R^1 は、場合により置換された C_{1-4} アルキルであり；

Y は、 C_{1-4} アルキレンであり；そして、

Z は、場合により、ハロ、ヒドロキシ、アミノ、シアノ、または場合により置換された C_{1-4} アルキルで置換されたフェニルである]

の化合物、またはその医薬的に許容し得る塩、エステルもしくはプロドラッグ、および医薬的に許容し得る賦形剤を含有する、哺乳動物における A_1 アデノシン受容体を拮抗するための医薬組成物。

【請求項 2】

A_1 アデノシン受容体は、腎不全；腎機能障害；腎炎；高血圧症；浮腫；アルツハイマー疾患；ストレス；うつ病；心不整脈；心機能の修復；うっ血性心不全；糖尿病；喘息；呼吸障害；脳、心臓および腎臓の虚血誘発性損傷；または、下痢から選ばれる疾患状態を処置するために拮抗する、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 3】

R^1 は、場合により置換されたアルキルである、請求項 1 記載の医薬組成物。

【請求項 4】

R^1 は、メチル、エチルまたはプロピルであり、そして Y は、メチレンまたはエチレンである、請求項 3 記載の医薬組成物。

【請求項 5】

Z は、場合により独立してクロロ、フルオロ、メトキシまたはヒドロキシから選ばれる置換基の 1 ~ 3 個で置換されたフェニルである、請求項 4 記載の医薬組成物。

【請求項 6】

Z は 3 - フルオロフェニルであり、 R^1 は n - プロピルであり、Y はエチレンであって、そして、式 I の化合物は N^2 [2 - (3 - フルオロフェニル) エチル] - 9 - プロピル - 8 - (ピラゾール - 1 - イル) - 9 H - プリン - 2, 6 - ジアミンである、請求項 5 記載の医薬組成物。

【請求項 7】

Z はフェニルであり、 R^1 はエチルであり、Y はメチレンであって、そして式 I の化合物は N^2 - ベンジル - 8 - ピラゾール - 1 - イル - 9 - エチル - 9 H - プリン - 2, 6 - ジアミンである、請求項 5 記載の医薬組成物。

【請求項 8】

Z は 4 - フルオロフェニルであり、 R^1 はエチルであり、Y はメチレンであって、そして式 I の化合物は N^2 - (4 - フルオロベンジル) - 9 - エチル - 8 - (1 H - ピラゾール - 1 - イル) - 9 H - プリン - 2, 6 - ジアミンである、請求項 5 記載の医薬組成物。

【請求項 9】

Z は 4 - フルオロフェニルであり、 R^1 はエチルであり、Y はエチレンであって、そして式 I の化合物は N^2 - (4 - フルオロフェニルエチル) - 9 - エチル - 8 - (1 H - ピラゾール - 1 - イル) - 9 H - プリン - 2, 6 - ジアミンである、請求項 5 記載の医薬組成物。

【請求項 10】

Z は 4 - フルオロフェニルであり、 R^1 はメチルであり、Y はメチレンであって、そして式 I の化合物は N^2 - (4 - フルオロベンジル) - 9 - メチル - 8 - (1 H - ピラゾール - 1 - イル) - 9 H - プリン - 2, 6 - ジアミンである、請求項 5 記載の医薬組成物。

【請求項 11】

Z は 4 - フルオロフェニルであり、 R^1 はメチルであり、Y はエチレンであって、そして式 I の化合物は N^2 - (4 - フルオロフェニルエチル) - 9 - メチル - 8 - (1 H - ピラゾール - 1 - イル) - 9 H - プリン - 2, 6 - ジアミンである、請求項 5 記載の医薬組成物。